

平成 22 年度研究開発成果概要書  
「光統合ネットワークの管理制御およびノード構成技術に関する研究開発」

(1) 研究開発の目的

エンドユーザのホスト、アクセスネットワーク、光統合ネットワークの構成に柔軟に対応し、パケット交換、パス交換を管理できるネットワーク運用管理システムの構成技術、並びに実現技術を確立することを目的とする

(2) 研究開発期間

平成 22 年度から平成 25 年度 (4 年間)

(3) 委託先企業

株式会社クラウド・スコープ・テクノロジーズ

(4) 研究開発予算 (百万円)

平成 22 年度 15

(5) 研究開発課題と担当

課題イの④：エンドユーザのホスト、アクセスネットワーク、光統合ネットワークの構成に柔軟に対応し、パケット交換、パス交換を管理できるネットワーク運用管理システムの構成技術、並びに実現技術の確立に関する研究開発

1. 光統合ネットワークの管理モデル構成技術
2. ホストとネットワークのインタフェースモデル構成技術
3. ネットワーク運用システムの外部インタフェースモデル構成技術

(6) これまで得られた研究開発成果

|      |         | (全体) 件 | (当該年度) 件 |
|------|---------|--------|----------|
| 特許出願 | 国内出願    | 0      | 0        |
|      | 外国出願    | 0      | 0        |
| 外部発表 | 研究論文    | 0      | 0        |
|      | 報道発表    | 0      | 0        |
|      | その他研究発表 | 2      | 2        |
|      | 展示会     | 0      | 0        |
|      | 標準化提案   | 0      | 0        |

## 具体的な成果

- (1) 「光統合ネットワークの管理制御およびノード構成技術に関する研究開発」の研究全容把握と、光統合ネットワークの機能を把握し、研究課題のシステム構成概要を導き、光統合ネットワーク管理の方向性と課題を明確にした。
- (2) 上記(1)の成果を基に、光統合ネットワークを運用システムで管理するための制御インターフェース要件を明確にした。
- (3) 上記(1)、(2)の成果を基に、光統合ネットワーク管理システムの構成法、管理技術のモデルを策定し、その有効性を検討し電子情報通信学会・ICM研究会、電子情報通信学会全国大会にて研究成果を発表した。